

## 平成25年第10回沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年10月23日（水）午後1時30分～午後2時40分

2 場 所 沼津市立図書館 4階 講座室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（久松委員 細沼委員）

(2) 前回会議録の承認（土屋委員 細沼委員）

(3) 議 案

議第17号 沼津市社会教育委員会への諮問について

(4) 協 議

協議第5号 沼津市立学校設置条例及び沼津市学校給食共同調理場条例の一部改正について

(5) 報 告

1) 9月市議会定例会一般質問等について

2) 第31回山口源新人賞の決定について

(6) そ の 他

なし

4 出席者等

委員長 土屋葉子、委員長職務代理者 久松但、委員 細沼早希子、委員 三好勝晴  
教育長 工藤達朗、教育次長 工藤浩史、図書館長 望月利通、教育企画室長 井原正利、  
学校管理課長 塩崎滋、生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長  
宮下義雄、教職員研修センター所長 神谷修、少年自然の家所長 高梨信、市立高校事務長  
田辺稔恵、図書館事務長 岩崎克己、スポーツ振興課長兼勤労者体育センター所長  
山崎賢一、文化振興課長 勝又 恵三、青少年教育センター所長 相磯幸代、  
学校教育課課長補佐 山田晃良、教育委員会調整担当 新井寿明、教育企画室主任  
宇佐美利香、教育企画室主事 石渡輔

5 会 議

土屋委員長が午後1時30分、開会を宣言する。

土屋委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 なし

土屋委員長より、会議録署名人に久松委員、細沼委員を指名する。

6 教育長挨拶

三好前委員長、また土屋委員長におかれましては、今後ともご指導のほど、よろしく  
お願いいたします。

今、教育委員会は色々な意味で注目をあびております。全国学力学習状況調査の国語Aが、  
静岡県が最下位であったことで、現在でも、いまだに新聞を賑わせております。

私も、午前中に門池小学校を訪問してまいりましたが、まずもって子供たちに申し訳ないこと  
をした、と職員への挨拶で述べました。

全県的にそういう思いを、今の小学6年生の子たちに持たせてしまい、学校教育に携  
わる者として、本当に謝罪するべきである、ということをお話しました。

人生60年70年と過ぎていくなかで、大きな傷とならないよう、今後の指導が大切であり、小5

以降の子どもたちが同じ思いをしないですむように、市として、新規事業「学力保証プログラム推進事業」をたちあげるために検討しているところです。

また教員の人事が大きくかわり、管理職になりたいものは、今までは校長の推薦が必須でしたが、自分で志願することができるようになりました。

管理職の要綱もオープンになり、情報開示請求をすれば、例えば自分がなぜ管理職になれなかったのか等がわかるようになりました。

これは静岡県が初めてではなく、東京では昔から行われていますし、全国的に増えてきているものです。

また、学校教育関係では、6年ほど前に大きく機構を変えて、人事課と学校教育課にわけて横のつながりがとれるようにしたものを、またもとに戻して、高校担当のなかに人事と指導、義務教育担当のなかに人事と指導といった縦割りの形にわけることになりました。行政としては大変大きな変更で、勇気ある決断といえます。

4つめとして、県の知事部局から県教育委員会へ意見書が提出されました。

長い教員生活で、ここまで劇的に変わったことはかつてありませんでした。

沼津市は県の協議会長でもありますので、こういったことをよく知っていただくことが重要となります。今後ともよろしく願いいたします。

## <議 案>

### 議第17号 沼津市社会教育委員会への諮問について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

土屋委員長 本件について意見等がありますか。

三好委員 機能と考え方というのは、色々なことを幅広く考えてもらう、ということか。例えば生涯学習とはどういったものか、といったところから考えてもらうのか。

生涯学習課長 生涯学習全般について委員の皆さんに広く考えてもらうもの。

三好委員 生涯学習とは、イメージ的には社会にでてからで年配の方が守備範囲と思われるが。

生涯学習課長 社会教育というと、法律上は学校教育を除く教育全てであるが、生涯学習となると学校教育、家庭教育も含めた全般の教育となる。

細沼委員 市民体育館の建設とこの諮問は関連するのか。

生涯学習課長 これも、利用できる情報のひとつと捉えてもらうとよい。

久松委員 現状で行っているもの以外についてはどんなことがあるのか。

生涯学習センターは現在ないのか。

生涯学習課長 センターとして総括する場所はない。

久松委員 新たにつくるイメージなのか。

生涯学習課長 建物を作るということではなく、生涯学習を市民がどのように進めていくのかといったことを推進するもの。

三好委員 他市町を参考とあるが、県外にも目を向けて、突出したものを視野に入れて検討をしてほしい。

生涯学習課長 はい。

土屋委員長 その他何もなければ、本件は異議なく可決としてよいか。

委員 異議なし

土屋委員長 議第17号は原案どおり可決する。

## <協 議>

協議第5号 沼津市立学校設置条例及び沼津市学校給食共同調理場条例の一部改正について  
(学校管理課長 資料に基づき説明)

土屋委員長 本件について意見等がありますか。  
三好委員 給食を小中一貫学校の校内で賄うということによいか。  
学校教育課 はい。  
土屋委員長 その他何もなければ、本件は原案のとおり市議会提出議案としてよいか。  
委員 異議なし  
土屋委員長 協議第5号は原案どおり議案とすることを決する。

## <報 告>

1) 9月市議会定例会一般質問等について  
(教育次長 資料に基づき説明)

土屋委員長 本件について意見等がありますか。  
久松委員 学力保証プログラム実行委員会とはどのようなものか。  
教育長 これは、8月28日に各市町に文科省から学力学習状況調査の結果が送られてきたのを受け直ちに、9月第1週目にはたちあげたもの。  
庁内の会議であり、教育企画室・学校教育課・教職員研修センターの3課員が集まり、どういう対応をとるべきかを検討した。  
内容としては、現状認識、校長会役員・校長OBからの意見聴取を行い、学力向上のための、短期・中期・長期的取組みの計画について、検討を行った。  
短期計画では、喫緊の来年度に向けて全教職員に問題を解いてもらうなど、調査内容を把握したうえでの対応を進め、中期計画では、来年度からの新規事業を検討し、長期計画では「教育基本構想」に学力保証をいれる等の見直しを進めていくことを話しあった。  
三好委員 県も、そういう会を立ち上げている。おそらく色々な形で行っているとは思いますが、個性といってもある程度の方針を県が挙げてきているのか。  
教育長 まさに、今、県といっしょに方針を作成しているところ。  
三好委員 秋田では、問題を検証してどこが弱いのか検討している、という記事を読んだ。短期的には来年に対してすぐに対応しなければならないが、抜本的に、先生の考え方と少しベクトルがずれている部分、どういう所がずれているのか、といったことから検証していただきたい。  
教育長 県の方針がでてから、沼津市として動くのか。  
沼津市の動きが県をけん引している部分もある。  
先進的に言語科を取り入れてきたのも、そういう面があった。  
今まで良かれと思ってやっていた静岡県独自のものにズレがあったが、今後ずれている部分を見直し、修正する。  
また大きなところでは教材の問題もとりあげられている。  
三好委員 学校と家庭の連携については、現状どのように保護者と学校を連携しようとしているのか。

- 教育長 学習に関しては、例えば秋田では独自に家庭学習ノートというものがあって、子どもが勉強したものに必ず保護者がコメントして学校へ提出する、という方法をとっている。また、少人数制も大きな特徴で、そういった積み重ね、努力によってたまたまではなく何年もトップでいる。静岡も独自の方式にとられず、今後やるべきことをやっていきたい。
- 三好委員 学校と家庭との意識を共有する方法はないのか。PTAへの働きかけなど何か上手く情報等のやりとりができると保護者も安心するのではないのか。
- 教育長 今回の議会答弁での反省点として、携帯電話等の部分で各学校全部の正確なデータを市教育委員会で把握していなかった。答弁の中でも今後調べていきますと答えている。
- 静岡県全体また沼津市の教員のレベルは、全国でも非常に高い。今回、最下位となった原因と思われるベクトルの違いを変えられれば今後は良くなっていくと考えている。
- 細沼委員 少し気になった点がある。生活状況に関する調査のなかで、沼津市の子どもは、平日家の人と夕飯を一緒に食べる割合が低いというところ。また2時間以上勉強し2時間以上ゲームをしつつ、6時半には起きるとなると、沼津市の子どもたちは慢性の睡眠不足ではないかと心配。
- 教育長 沼津市の子どもたちが2時間以上勉強する割合は国や県よりも高く、6時半より前に起きる子の割合も全国的に非常に高い。
- 教職員研修センター所長 沼津の子は、早寝早起き規則正しい生活の中で、勉強もゲームもする時間がきっちり入っている。また社会体育・習い事をする児童生徒が多い関係で、家族と一緒に夕飯を食べる割合が減っていると判断している。
- 土屋委員長 全般的には沼津の子は、早寝早起き、しっかり勉強してしっかり遊ぶ、大変理想的な子供たちだと思う。今回学力学習状況調査がベクトルがずれたからといってマスコミが騒ぐことに一喜一憂せずに、今まで通り、沼津の教育の良さ、教員の能力の高さ等をもっと伸ばして、子どもたちの将来を見据えて、教育していただきたい。来年の点数ばかり気にせずに、進めていただけるとよい。
- 教育長 我々教員は、この調査は学力の一面であると捉えているが、やはり結果は結果であって、子どもたちが自信をなくしてしまう恐れがある。静岡県、沼津市の子どもたちは自己肯定感が低いため、これで、益々低くならなければよいのだが。もっと自信を持たせることが必要。今回の調査については、あの形式での問題をやったことがなかったため、例えるなら練習試合もせずに試合に行くようなもので、子どもたちに対してかわいそうなことをした。
- 土屋委員長 子どもたちの良いところをもっと褒めて、自信をもたせてあげることが大切。
- 三好委員 「しゃべり場inぬまづ」について、若者の声を市政に反映させる視点もあるとのことだが、高校生だけではなく、大学生・20代にもそういう場を作ると、今まで思っただけでも発信する場がなかったので、面白いのではないのか。異世代が同じテーマで意見をだしあうと、大きな行政のヒントとなるのでは。
- 生涯学習課長 今回のしゃべり場は、中学生には「わたしの主張大会」が、20代には「新成人議会」といった意見を述べる場があるが、その中間である高校生にはなかったため、その場を提供したもの。

これにより、とりあえず形のうえではカバーできたのではないか。他市町では小学生を対象としているところもある。ところが成人となるとどういう範囲とするのか難しい。

三好委員 20代・30代へ生涯学習の一つと捉えて行くとよい。成人議会は、形どりのものになるので、20代の生の声を聞く場があっても面白い。

生涯学習課長 勉強させていただきます。

土屋委員長 その他意見もないようなので、本件は報告を受けたということでした承願います。

2) 第31回山口源新人賞の決定について  
(文化振興課長 資料に基づき説明)

土屋委員長 本件について意見等がありますか。

教育長 2人の中村氏のこの画は、なんだろうと思ったのだが、これは字が細かく刷られていて、近くで見ないとわからない。いままでに中村氏が書いた日記をもとにしているとのこと。

久松委員 浮き出ているわけではないのか。

教育長 平面です。

土屋委員長 これは市から報奨金がでるものか。

教育長 出ます。

土屋委員長 その他意見もないようなので、本件は報告を受けたということでした承願います。

<その他>

なし

土屋委員長 次回は11月21日の開催となる。  
他になければ以上で閉会とする。

午後2時40分 閉会